

＝活動の概要＝

日にち	場所	内容
10/4	ハイチ	ハリケーン「マシュー」がハイチ上陸
10/8 (日本時間)	日本	第一次派遣者 日本出発
10/9	米国・マイアミ	NPO 法人 TMAT チームと合流
10/9	ハイチ ポルトープランス	AMDA ハイチ支部と合流後、情報共有 ポルトープランスの調査と物資調達 (医薬品含む)
10/10	ハイチ ポルトープランス  ジェレミー	ポルトープランス出発。2010 年ハイチ地震の際に活動した フォン・デ・ネグルの病院に被害がなかったことを確認 ジェレミーに向かう山道のプレンマテとジュチィティにあ る避難所にて NPO 法人 TMAT 医師らが計 14 名を診察 ジェレミー市到着  
10/11	ジェレミー	AMDA・NPO 法人 TMAT 合同チーム、市内調査開始。 ジェレミー市内の避難所 3 か所で 300 人の水、ミルク、シ リアル、パスタ、50 袋の乳児用おむつ、女性用生理用品な どの物資を配布 ジェレミー市を出発  
10/12	ポルトープランス	合同チームポルトープランスに到着 NPO 法人 TMAT 医療チーム、帰国の途に就く AMDA、第 2 次派遣を決定
10/13	ポルトープランス	AMDA 調整員、AMDA ハイチ支部長、日本大使を表敬訪問 医薬品の調達
10/14 (日本時間)	日本	AMDA 第 2 次派遣チーム ハイチに向けて出発
10/15	ハイチ ポルトープランス	AMDA 第 2 次派遣チーム ハイチ到着 情報共有の後、追加の医薬品、医療物資を購入
10/16	ポルトープランス	AMDA・AMDA ハイチ合同チーム、被害が大きかったジェ

	ジェレミー	レミーへ移動 
10/17	ジェレミー モロン	ハイチ厚生省コレラ対策担当官とのミーティングで AMDA はジェレミー市から車で1時間半ほどのモロン市サントレ・サンテ・デ・モロン病院での活動決定 モロン病院へ移動、病院長とミーティング 医療支援活動（診療、コレラ感染予防教育） 
10/18	ジェレミー	WHO ヘルスクラスターミーティングに参加、活動報告 モロン市に移動、モロン病院にて医療支援活動を継続 
10/19	モロン	モロン病院にて医療支援活動に加えて、栄養不足によりコレラに対する抵抗力が弱い患者さんのため食糧支援（パン、ビスケット）も開始 第二次派遣チーム看護師、調整員帰国の途に就く 
10/20	ジェレミー モロン	WHO ヘルスクラスターミーティングにて活動報告 AMDA と地元有志、食糧支援（野菜スープの炊き出し）を行う

		
10/21	<p>ジェレミー</p> <p>モロン</p>	<p>ハイチ厚生省コレラ対策担当官とのミーティングで AMDA に衛生面や食料面での支援要請があり、今後も支援を継続することを確認。モロン病院の入院患者はレメア市の病院へ搬送されることに決定</p> <p>モロン病院で野菜スープの炊き出しを行う</p> 
10/22	<p>マフラン</p> <p>モロン</p>	<p>AMDA・AMDA ハイチ合同チーム、衛生支援を行うマフラン市のコレラ治療センター（CTC）を視察。</p> <p>モロン病院に行くと、すでにコレラ患者はレメア市の病院に搬送されていたため、食事をモロン病院で作り届ける聴診器、血圧計、体温計、医薬品、シューズカバーなどの消耗品をモロン病院に寄贈</p> 
10/23	<p>モロン</p> <p>ポルトープランス</p>	<p>AMDA・AMDA ハイチ合同チーム被災地からポルトープランスへ移動</p>

10/24	ポルトープランス	<p>日本大使館や厚生省事務所にて活動報告 AMDA ハイチ医師らが引き続き被災地で活動するため、掃除道具など必要物資を調達</p> 
10/25	ハイチ ジェレミー	<p>AMDA 派遣チーム帰国の途に就く AMDA ハイチ医師ら被災地であるジェレミーに移動</p>
10/26	マフラン レメア	<p>AMDA ハイチ医師らは新しくマフラン市で立ち上がった CTC の衛生面での支援、レメア市に搬送されたコレラ患者さんに対する食糧支援を 10 月 30 日まで行う</p> 
10/27(日本時間)	日本 ハイチ・ジェレミー	<p>AMDA 派遣チーム帰国 WHO ヘルスクラスターミーティングにて活動報告</p>
10/30	ジェレミー ポルトープランス	<p>AMDA ハイチ医師ら被災地からポルトープランスへ移動 地元スタッフは 11 月 3 日まで継続的に食料支援を行う</p>